

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 上下水道課
-----------	-------------

コード	VI-18-43	施策名	生活排水処理対策・浸水対策の推進
まちづくりの 目標	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		施策の方針 市民の暮らしと調和した生活空間を形成する
5年後の めざす姿	家庭からの生活排水は、集合処理施設 エリアの接続促進と合併処理浄化槽による個別処理方式への切替えを推進することで、海や河川の水質を保全します。効果的な浸水対策を行うことで、台風等の集中豪雨による浸水被害を最小限に抑えます。		
施策の課題	本市では下水道の面整備が概成しており、今後も公共用水域の水質保全を推進するためには、下水道施設の適正な維持管理と汚水処理の接続促進、浄化槽設置の推進に努める必要があります。また、下水道施設の老朽化・耐震化に対応するため計画的な施設更新事業に取り組む必要があります。さらに、内水被害の軽減に向けた雨水(浸水)対策についても、市民生活を守るために重点的に浸水対策整備を進めなければなりません。		

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
生活排水処理率		汚水処理人口の普及に係る総括表(生活排水処理施設整備人口÷行政人口)	目標		68.7	69.2	69.7	70.3	73.6	
			実績	%	67.5	69.1	70.1	71.5	72.5	
			達成率	%		99.9%	99.9%	100.5%	103.1%	
公共下水道の接続率		汚水処理人口の普及に係る総括表(接続人口÷接続可能人口)	目標		83.0	83.5	84.7	84.8	87.0	
			実績	%	83.0	84.6	85.1	85.6	86.1	
			達成率	%		100.5%	101.3%	100.4%	101.5%	
合併処理浄化槽の普及率		汚水処理人口の普及に係る総括表(接続人口÷行政人口)	目標		16.2	17.1	17.8	17.9	20.5	
			実績	%	15.8	17.0	17.7	19.0	19.6	
			達成率	%		104.8%	103.5%	105.6%	109.5%	
浸水対策進捗率		浸水対策累計事業費÷浸水対策総事業費	目標		24.7	32.5	34.3	45.8	63.0	
			実績	%	17.7	24.7	35.8	47.3	53.1	
			達成率	%		96.4%	105.8%	132.7%	115.9%	
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標達成に向け 今後の流れ	目標							
			実績							
			達成率	%						

本市では下水道の面整備が概成しているため、汚水処理の接続促進と浄化槽設置の推進に努めており、生活排水処理率・公共下水道の接続率・合併処理浄化槽の普及率の進捗が順調に推移しています。また、計画的に市浜排水区の浸水対策整備を進めていますが、地域の事情等により整備順序の変更や見直しが発生しています。

公共用水域の水質保全を推進するため、引き続き合併処理浄化槽設置補助の推進と汚水処理の接続促進に努めていきます。また、汚水処理施設等の更新・耐震化についても水質保全に欠かせない事業として取り組んでいきます。浸水対策については、多額の費用を必要とし短期的な整備は困難なため、中長期的な計画のもと整備を進めます。

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	
向上領域	2.64	2.06	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域	浸透度		85.04%
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	公共下水道汚水整備事業	公共下水道における普及率の向上を図るための面整備の促進及び終末処理場の施設更新としての長寿命化事業	上下水道課	441,757	64,892	有	順調	向上	貢献度大	○
2	公共下水道雨水整備事業	浸水常襲地帯である市浜地区の浸水対策	上下水道課	186,584	94,415	有	やや遅延	向上	貢献度大	○
3	浄化槽設置費整備事業(個人)	個人が設置する浄化槽に対する補助金交付	上下水道課	94,221	95,548	有	順調	向上	貢献度中	○
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				722,562	254,855	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

施設の老朽化・耐震化対策のため、ストックマネジメント計画に基づく終末処理場の施設更新事業の継続実施と、管路についてもストックマネジメント計画を策定し事業に着手する必要があります。また、生活排水処理率向上については、浄化槽設置基数の更なる増加と汚水処理の接続促進に努めなければなりません。雨水(浸水)対策については、狭間第4雨水幹線の早期完成を目指すとともにその後の狭間新地雨水整備を進めなければなりません。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る  
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> ...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	生活排水処理対策は、公共用水域の水質保全のみならず快適な市民生活に欠かせない事業であり、浸水対策は今後も整備を進めなければ浸水被害軽減等の効果が発揮できないことから強化すべき施策と考えます。次年度以降の取組としては、生活排水処理対策では、施設の老朽化・大規模災害等に備えた耐震化に取り組むとともに、浄化槽設置基数の更なる増加と汚水処理の接続促進に努めます。また、浸水対策では、市浜排水区の雨水整備として狭間第4雨水幹線の完成と狭間新地雨水整備を進めていきます。